

資料3 集会の年間実践計画

月	日	内 容	月	日	内 容
4	7	生徒会入会式	9	10	学級の時間(ディスカッション)
	9	生徒会奉仕委員会		14	駅伝壮行会
	23	合唱集会		17	合唱集会
	30	学級の時間		24	学級の時間(ディスカッション)
5	2	生徒会総会	10	5	新人戦壮行会
	7	集団行動訓練		8	合唱集会
	11	集団行動訓練		12	文化祭関係(ディスカッション)
	14	合唱集会		22	文化祭関係(ディスカッション)
	21	学級の時間(ディスカッション)		29	文化祭反省(学級または学年)
6	25	中体連陸上壮行会	11	5	合唱集会
	4	応援練習		12	合唱集会
	8	地区中体連壮行会		12	19 冬休みの過ごし方
	18	学級の時間(ディスカッション)		14	新年の抱負発表会
	22	県北中体連壮行会		1	21 音楽集会
	25	合唱集会		28	2 学年 + 1 学年主催の集会
7	9	3 学年主催の集会(ディスカッション)	2	18	音楽集会
	16	夏休みの過ごし方 + 合唱集会		3	生徒会総会
	27	奉仕活動		3	6 3年生を送る会
9	3	体験発表 + 合唱集会	(木曜日の6校時を生徒活動の時間とする)		

3 家庭地域集団連携部

トートの効果的活用)
 ●生徒が努力する週目標を三つにしぼり、その週に目標が達成されたら、次のより高い目標を立てていくよう指導援助した。
 ●「生活の歩み」ノートを通して、生徒との意見交換を図りながら、レポートづくりの心掛けた。

E領域(家庭地域連携領域)
 ① 研究のねらい

学校と家庭及び地域との信頼関係の確立に努めるとともに、学校・家庭・地域社会とのふれあいにより社会認識や社会的責任を養う。

② 実践内容

ア、保護者、生徒、教師が一緒に活動する場を設けることにより、好

四 研究の成果と今後の課題

●学校週五日制を前に地域の人々を中心に、郷土芸能等地域を振り返る場と機会を設けた。
 ●響月祭(月館中文化祭)に、地域のお年寄りを招待し接待した。地域をあげての文化祭の感が強く、例年大盛況で町の名物行事ともなっている。

楽しい人間関係や連帯感を育てる。
 ●三者が企画運営に当たり、親子共同作業を実施した。
 (資料4参照)
 ●保護者が参加できるような体験発表集会や家庭教育セミナー等を開催した。
 ●学校新聞に生徒や保護者の意見を数多く掲載し、相互学習の機会を設けた。
 イ、地域PTA活動による生徒の活動の機会の充実を図り、自然体験、社会体験、生活体験を豊かにする活動を推進する。

